

(学年) 第3学年, (教科・科目) 家庭・子どもの発達と保育

一斉学習

(単元) 乳幼児期の発達の特徴

(本時のねらい)

少子化の影響で、歳の離れた自分の妹弟がいる生徒も希である。そのため乳幼児期、特に新生児期の赤ちゃんを観察する機会はかなり少ない。赤ちゃん授業をとおして、乳児期の状況を理解させる。自分たちが親になる、あるいは保育に係わる自覚をもたせる。

(ICT 活用方法)

赤ちゃん授業を実施するにあたり、9月に出産したばかりの先生に依頼した。コロナ禍ということもありウェブミーティングアプリを活用した。昨年度から生徒たちを担当した女性教諭であり、妊娠中も保健体育の授業で関わりがあった。出産時を含む子育ての実話を直接してもらい、生徒たちが親になるということについて、出産を体験した先生とその赤ちゃんの様子から、自分事として考えさせたい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ウェブミーティングアプリの接続(学校と先生宅)
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ウェブミーティングアプリを通して、親となった先生とその赤ちゃんの様子をみる。 出産についてその様子や先生の思いを聞く。 乳児の特徴について、ウェブミーティングアプリの向こうで、乳児をあやしながらの説明を聞く。 原始反射などについて、実際にその反射を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの様子を観察させる。 知識として知っていることと現実を対比して考えられるように声かけをする。 母子ともに健康に生活することについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室の大型提示装置に教師用端末をつなぎ、生徒たちが広角で映るようにする。 先生宅ではPCとスマホの2つの画面で参加。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての苦労と喜びについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを育てることは、喜びも苦労もあることを理解させる。 	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回があることを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブミーティングアプリ退出

(授業の様子)

ウェブミーティングアプリでみる
赤ちゃんの動き

赤ちゃんの様子：PCとスマホ併用
生徒たち：教師用端末



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

コロナ禍で直接会うことができない状況であったが，妊婦さんの姿で授業をしてくれた先生から産まれた赤ちゃんと会うことができ，妊娠・出産について身近に感じることができた。

インターネット回線の安定した接続が課題である。